

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2022年12月17日～2022年12月23日の期間に発表された、食品に関連する情報を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

★2022年最後の配信となります。本年も大変お世話になり、ありがとうございました。
2023年は1月10日より配信開始予定です。皆様どうぞ良いお年をお迎えください。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。
<https://food-analab.jp/news/index.html#back-number>

★★★★★分析テクノからのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

現在、「はじめてのお客様限定！食物アレルギー検査特別価格キャンペーン」を実施中。詳しくは下記URLから。
<https://food-analab.jp/news/dbpdf/327094427535b30.pdf>

★★

当社の2022年度年末年始の休業期間は、12/30（金）～1/4（水）とさせていただきます。
誠に勝手ではございますが、ご了承下さいますようお願い申し上げます。
なお、年末年始に関わる期間の試験結果報告予定日、試験品の受け取り、保管につきましては、下記までお問い合わせください。
【お問い合わせ先】
千葉本社 043-237-5676
関西事業所 0743-59-0775

★★

<厚生労働省>

・令和4年度輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果（中間報告）の公表
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29679.html
⇒令和4年度輸入食品監視指導計画に基づく監視指導結果（4月～9月）は以下の通りでした。輸入届出件数に対する違反件数割合は、前年度に比べてわずかに減少しています。

	今年度	昨年度
輸入届出件数(件)	1,246,556	1,246,313
輸入届出重量(千ト)	12,154	11,891
検査総数(件)	106,351	102,352
違反件数(件)	388	398
違反割合(%)	0.031	0.032

レポートはこちらです。
<https://www.mhlw.go.jp/content/001028485.pdf>

・食品に関するリスクコミュニケーション「輸入食品の安全性確保に関する意見交換会」を開催します
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/1111212865_00033.html
⇒東京：2023年1月31日（火） 大阪：2月3日（金）

・輸入食品に対する検査命令の実施
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29846.html
・薬生食輸発1220第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（中国産くわいのパクロブトラゾール）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24759.html

⇒中国産くわいからパクロボトラゾールを複数検出され、検査命令となっています。

・薬生食輸発1220第3号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（中国産食品のサイクラミン酸に係る検査命令対象製造者の追加）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001026639.pdf>

⇒既に検査命令となっている中国産食品の甘味料サイクラミン酸について、新たに検出された製造業者が追加されています。

・薬生食輸発1223第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（ベトナム産食品のアフラトキシン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029605.pdf>

⇒ごまの種子及び落花生を含むベトナム産食品からアフラトキシンが検出され、検査命令対象業者が追加されています。

・薬生食輸発1223第2号「令和4年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（ベトナム産トゲウナギのエンロフロキサシン及びインド産小麦のプロフェノホス）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029612.pdf>

⇒以下の畜水農産食品及びその加工品について、検査頻度が変更されています。

ベトナム産トゲウナギの動物用医薬品エンロフロキサシン：通常⇒30%（強化）

インド産小麦の農薬プロフェノホス：30%⇒通常（緩和）

・薬生食輸発1221第2号「「輸入鯨肉の取扱いについて」の一部改正について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001027656.pdf>

⇒ノルウェー産鯨肉の輸入時のモニタリング検査において、基準値を超える動物用医薬品ディルドリン及びクロルデンが検出されています。

・薬生食監発1223第1号「フィンランドから輸入される牛肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029129.pdf>

・薬生食監発1223第2号「輸入牛肉等の安全確保について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029130.pdf>

・薬生食監発1223第3号「フィンランドから輸入される牛肉等の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029131.pdf>

・薬生食監発1223第7号「牛肉等の現場検査の実施について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029738.pdf>

・事務連絡「カナダから輸入される牛肉等の衛生証明書について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/001029741.pdf>

<農林水産省>

・「第7回ジビエ料理コンテスト」の結果について

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/221221.html>

・2023年も恵方巻きのロス削減に取り組む 事業者を募集します!

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/221222.html>

⇒募集期間：2022年12月22日（木曜日）から2023年2月3日（金曜日）17時00分まで

・第10回「食品産業もったいない大賞」の受賞者決定!

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/221223.html>

・野菜の生育状況及び価格見通し（令和5年1月）について

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/engei/221223.html>

⇒指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、バレイショ、サトイモ、タマネギ）のうち、**キャベツ、ナス**が**安め**で推移する見込みです。

<消費者庁>

・「めざせ!食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト受賞作品決定

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031505/>

⇒内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）賞
作品：日本から 世界に広げれ 「もったいない」

<厚生労働省 食品衛生申請等システム掲載の回収情報>

アレルギー	27件
消費/賞味期限の誤記/欠落	12件
微生物	1件
落花生パイ：カビ発生	
異物	1件
白す干し：ふぐ混入	
農薬/動物用医薬品	1件
中国産くわい：農薬パクロブトラゾール	
添加物	1件
つば漬：サッカリンナトリウム	
その他	1件
おにぎり：消費期限切れ商品販売	

計44件

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

	1位	2位	3位	4位	5位
12/11-	官能/物性	残農/動薬	異物	栄養/機能	コンサル
12/ 4-	残農/動薬	栄養/機能	官能/物性	異物	アレルギー
11/27-	官能/物性	異物	残農/動薬	栄養/機能	DNA

↓官能評価/物性評価のページはこちらです↓

<https://food-analab.jp/service/flavor.html>

★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
 インフォメーションニュース担当
 Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
 TEL:043-237-5676 FAX:043-237-2912
 URL:<https://food-analab.jp/>

